

経営比較分析表（平成28年度決算）

兵庫県香美町 公立香住病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	透視	救輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
18,634	8,150	第1種該当	13：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

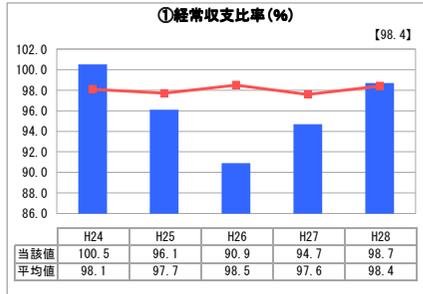
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
50	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	50
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
40	-	40

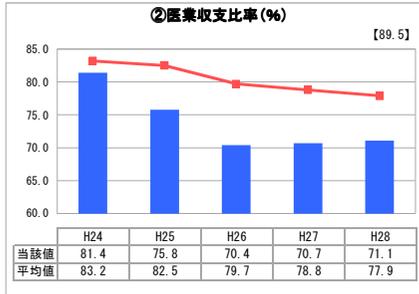
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

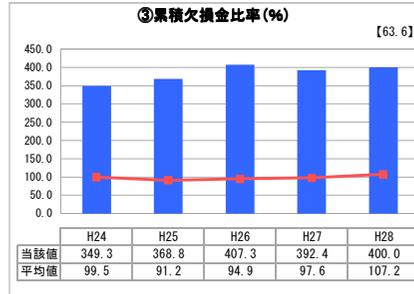
1. 経営の健全性・効率性



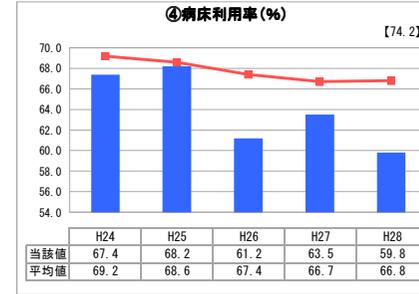
「経常損益」



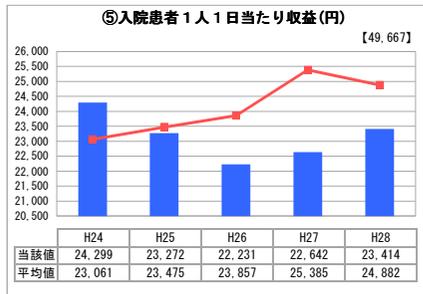
「医業損益」



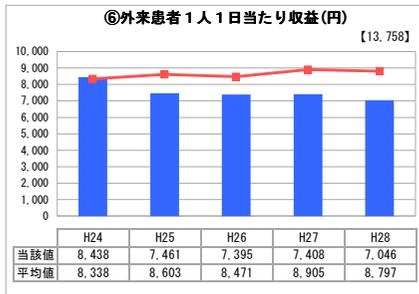
「累積欠損」



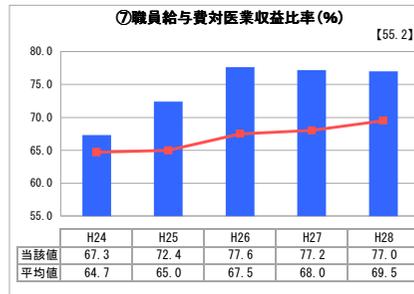
「施設の効率性」



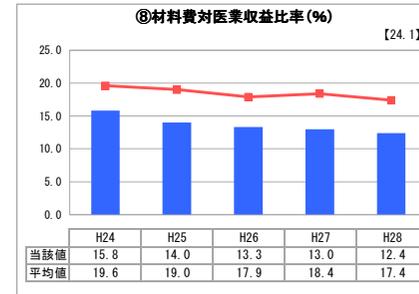
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

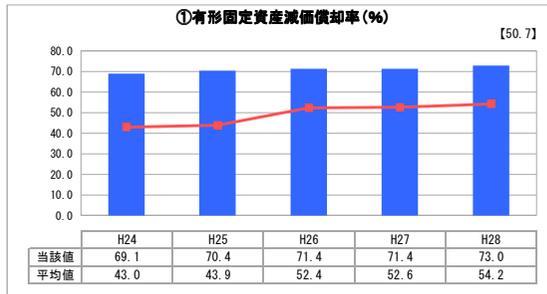


「費用の効率性①」

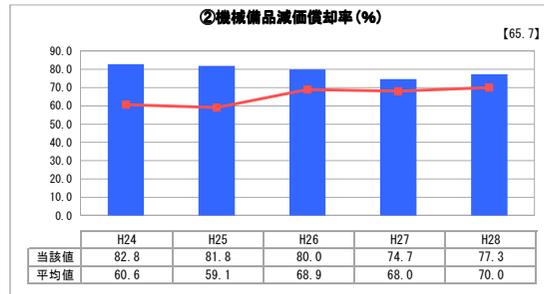


「費用の効率性②」

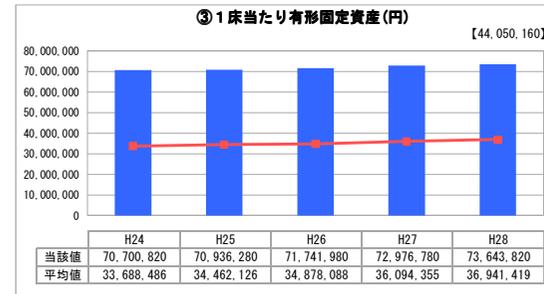
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

香美町全体が過疎地域に指定されており、山間へき地・離島など民間医療機関の立地が困難な過疎地等における一般医療の提供を担っている。また、高齢化が進み、在宅復帰が困難な患者が増えることと介護老人保健施設、訪問看護等在宅医療提供体制の充実を図ることで、地域包括ケアシステムを支える役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

病床利用率は、冬季におけるインフルエンザ等感染症の入院患者数が前年度に比べて少なかったこと、内科支援医師の減により外来患者数が減となり外来診療から入院に転換する患者数が減少したことなどにより平成28年度は悪化しているものの、耳鼻咽喉科常勤医師の採用による外来収益の増、正職医師から嘱託医師への転換による費用の減などにより、医業収支比率はわずかながら増加している。

職員給与と費対医業収益比率においては、平均値を大きく上回り、職員の高齢化が大きな課題となっている。上記3指標ともに類似規模の公立病院に比べ経営が悪い状況ではあるが、過疎地医療を守る観点から赤字に対する一般会計からの補助を行っている結果、経常収支比率は平均値と同水準を達成している。

2. 老朽化の状況について

平成3年に建設した病院本館は、すでに27年が経過しており老朽化が著しくなってきた。建物と共に整備した医療機器、器具備品等も同様に次々と更新時期を迎えている。

有形固定資産及び機械備品の減価償却率はともに平均値を上回っているため、計画的な老朽化対策が必要となっている。

また、1床当たり有形固定資産が平均値の2倍近くとなっているが、これは病院本館の建設時と比較して病床数が半以下となっていることによるものである。

全体総括

経営の健全性を表す経常収支比率や医業収支比率は平成26年度から年々改善しているが、病床利用率や患者 1 人 1 日 当たりの収益は類似病院平均値を下回っている。

また、職員給与と費対医業収益比率、資産の減価償却率は逆に平均値より上回っている。類似区分の50床以上100床未満の中で当院は50床と最小の規模に位置するが、全体的に類似病院の平均にまで至っておらず、良いとは言えない経営状況である。

このため、公立香住病院新改革プランの実行により今後更なる経営改善を行い、より良い医療サービスの提供に努める必要がある。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。